

令和3年度援護関係予算案の主要事項

	【2年度予算】	【3年度予算案】
援護関係予算総額	21,700百万円	→ 20,396百万円
1 援護年金	6,020百万円	→ 5,070百万円
	(受給人員 3,500人 → 3,009人)	
2 戦没者等の遺族に対する特別弔慰金の支給	1,069百万円	→ 1,083百万円
支給事務経費の増		
〈支給対象件数〉		
・戦没者等の遺族に対する特別弔慰金	約85万人	
・戦傷病者等の妻に対する特別給付金	約6百人	
3 遺骨収集事業等の推進	3,004百万円	→ 2,764百万円
(1) 遺骨収集事業	2,433百万円	→ 2,151百万円
(2) 海外公文書館の資料収集	17百万円	→ 17百万円
(3) 遺骨の鑑定	521百万円	→ 560百万円
ア 鑑定実施体制の充実	247百万円	→ 276百万円
(新)分析ラボの設立準備		
・DNA鑑定の充実		
イ 戦没者遺骨に関する研究の推進	274百万円	→ 283百万円
・次世代シーケンサによるSNP分析に係る研究委託		
・形質人類学的鑑定に係る研究委託		
・安定同位体比分析に係る研究		
※ 別途、DNA鑑定に係る研究を科研費で実施		
(4) 遺骨・遺留品の伝達	33百万円	→ 35百万円

4 戦没者慰霊事業等	<u>595百万円</u>	→	<u>627百万円</u>
(1) 全国戦没者追悼式挙行経費	163百万円	→	195百万円
(2) 慰霊巡拝等	433百万円	→	431百万円
ア 慰霊巡拝	98百万円	→	99百万円
イ 政府建立慰霊碑の補修等	54百万円	→	53百万円
ウ 海外・国内民間慰霊碑の管理	22百万円	→	20百万円
(ア) 海外民間建立慰霊碑	10百万円	→	10百万円
(イ) 国内民間建立慰霊碑	12百万円	→	10百万円
エ 慰霊友好親善事業	259百万円	→	259百万円
5 昭和館・しょうけい館事業	<u>646百万円</u>	→	<u>678百万円</u>
(1) 昭和館	470百万円	→	459百万円
(2) しょうけい館	177百万円	→	219百万円
6 中国残留邦人等の援護等	<u>9,986百万円</u>	→	<u>9,848百万円</u>
(1) 中国残留邦人等に対する支援等	9,816百万円	→	9,690百万円
ア 支援給付の実施等	9,777百万円	→	9,651百万円
イ 中国残留邦人等の介護に係る環境整備	39百万円	→	39百万円
(2) 抑留者関係資料の取得及び特定作業関係	110百万円	→	118百万円
(3) 戦没者等援護関係資料の移管・整備	60百万円	→	40百万円

(百万円単位で四捨五入しているため、各欄の増減が一致しない場合がある。)